

市議会行政視察 海外に学ぶ

見聞を広め、本市の発展並びに議員の資質向上のために、行政視察を実施しました。
今回は、欧州・中国徳陽市の2カ所を視察しました。
それぞれの視察内容について報告します。

『全国市議会議長会 欧州都市行政視察』

参加者 重光秋治、西本博之

日程 平成26年10月8日～16日

日

視察先 イギリス、スウェーデン、オランダの3カ国

ン、オランダの3カ国

*イギリス（ケント州議会）

冒頭、一般財団法人自治体国際化協会を訪れました。ここでは、海外の地方公共団体の活動を支援し、地域活性化の方策等の情報の収集や提供、調査研究を行う一方、対日理解促進を図るために日本の地方自治制度や行財政制度等の諸事情を紹介しています。

ます。

公式訪問では、ケント州議会を訪れました。議会は上院及び下院の二院制となっており、特徴的なところとしては、上院は、一代貴族、一部の世襲貴族、司教等から構成され、公選制は導入されておりません。また、市長と議長は、議会の投票で選ばれる名誉職となっています。

*スウェーデン（ウプサラ市）

スウェーデンの地方自治は、県自治体と市（基礎自治体IIコミュニティ）に分かれており、事務として、県は公共交通や医療など、市は福祉、上下水道等と別れています。県・市の上下の関係はなく、市が課税権を有しており、歳入の70%をコミュニティ税（地方所得税）が占めています。このことから、スウェーデンの地方自治が先進的であることが窺えました。市の最高決定機関は市議会であり、市議会が、市長及び執行委員会メンバーを決定します。

*オランダ（ハウテン市議会）

ハウテン市は、1966年策定の第二次空間計画に関する国土政策文書に基づき、国の政策により形成された街です。1960年代は自動車を重視したまちづくり、1970年代に環境に対する意識変化や、渋滞や交通事故問題を踏まえて、自転車重視するまちづくりへ転換。公園や垣根に沿って自転車道が整備され、まちの外周に自動車用の環状道路が整備されています。市内の各地区間を移動する時は、一旦外の環状道路



ケント州議会議場

に出て移動しており、各地区間を移動する場合には、自転車を利用した方が早い移動となりま
す。現実にその街並みや、自
転車での暮らしぶりを見て、この
様なまちが実在することに驚き
を感じ、異次元（未来的）な街
並みの中にいる感覚を受けまし
た。

この度の視察は、欧州各都市
の地方自治の実態や行政施策の
実情について学び、加えて訪問
先の関係者や調査団メンバーと
の交流をすることで相互理解と
認識を深めることができました。



ケント州議会で説明を受ける

学んだことを、今後の活動に活
かし本市の発展に寄与すると
もに、実際に現地に赴いたこと
で、視察の目的でもある国際親
善にも寄与できると確信してい
ます。

『中国徳陽市友好親善訪問』

参加者 麻生豊、平岡毅

日程 平成26年10月21日～23

日

視察先 中国四川省徳陽市

*30周年記念式典

広島県と四川省は、昭和59年
の友好提携締結以来、長年にわ
たる友好交流の礎の上に、平成
23年に経済交流協定を締結し、
平成26年には成都・広島物産展
を開催するなどジエトロ広島貿
易情報センターの事業支援等を
通じて交流がさらに促進されて
いることなどが紹介されました。

*米老頭食品有限公司

主に米から作る「ポン菓子」
を製造しており、年間160億円の
売り上げがある製菓工場でした。



30周年記念式典の様子

昔ながらの製法が印象的でした。

*綿竹遵道鎮キウイ産業園

広大な農地（400ヘクタール）
一面にキウイが植えられており、
収穫時期をすらす方法により、
冷蔵保存による出荷作業は実施
されていませんでした。

*徳陽市表敬訪問

徳陽市・東広島市友好21周年
記念として歓迎を受けました。
四川大地震後、中国政府視察団
として、日本の防災専門家の指
導を受けるため、日本へ研修に
行った件など、日中友好の強い

絆を感じておられました。他に
も、2008年四川大地震で壊滅した
街を後世に伝える施設の視察や
中国西部国際博覧会を視察する
など、多くの体験をさせて頂き
ました。

今後も、友好都市としての交
流を行う中で、相互理解と信頼
をさらに深く築けるよう、互い
に努力する必要性を感じました。



徳陽市表敬訪問の様子